

千葉県糖尿病性腎症／CKD重症化予防対策推進に関わる 検査のワンチェックオーダーについて

医療機関が糖尿病性腎症及びCKD診療を効果的に進めるために、診断に必要不可欠な複数の検査項目をワンチェックでオーダーができるよう検査会社へ依頼時の文書案を作成し、CKD対策協力医に周知をしていくことを検討している。

○ 目的

糖尿病性腎症／CKD患者や重症化リスクの高い者を把握し、早期に適切な治療へ繋げる。

○ 経緯

令和3年度第1回検討会において、CKD部会にて検討を進めていくこととなり、令和3年8月に大手検査会社8社を対象に、①eGFR と②尿蛋白／クレアチニン比のワンチェックオーダーの対応可否について調査を行った。

概ねすべての検査会社において『依頼があればワンチェックオーダーを項目として作る準備はある』という結果を得た。

令和4年度第1回のCKD部会で、CKD対策協力医を対象とした通知文書案を作成し送付することについて確認し、8月に開催した千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会で了承をいただき、11月には千葉県医師会長の了解をいただいた。

本部会において最終的な文面を検討後、千葉県医師会の理事会（令和5年1月予定）で協議をいただく予定。

○ 検討案

（資料1-2を参照）

- ・ 「千葉県糖尿病性腎症／CKD重症化予防対策推進に関わる検査会社への検査ワンチェックオーダー化への働きかけのお願いについて」文書を医療機関（千葉県CKD対策協力医）に発出する。
- ・ 医療機関は、「医療機関から検査会社への依頼文」を使用して、必要な項目にチェックをいれて検査会社へ依頼する。

なお、医療機関は、診療報酬上算定点数について初診の場合は、11点追加されるが、再診の場合は「まるめ」となるので追加点数はない。